



トライエスプログラム®

株式会社オリエンタル観光 本社営業所

2026年 6月度 教育研修記録簿

作成者：株式会社アスア 宮田 雅史

1.実施概要

- 開催日 : 2026年 6月16日(火)
- 開催時間 : 14時00分 ~ 19時50分
- 開催場所 : 2階会議室
- 実施者 : 株式会社アスア 宮田 雅史
- 参加状況 : 17名/17名 (参加率:100.0% : 別紙参加者リスト参照)
- 法定12項目 :
- 教育区分 : **安全** 環境 労務 その他 (主として運行する路線若しくは経路又は営業区域におけ)

2.目標と進捗

■ 目標

- ① ミーティング参加率100% (欠席者 フォロー含む)
- ② 走行管理表の記入・提出100%
- ③ 安全教育の仕組みづくり

■ 進捗

No.	目標や課題		対応方法および進捗状況
①	目標	ミーティング参加率100% (欠席者フォロー含む)	【出席率】 6月度MTG出席率：17/17 欠席者：無し 欠席者：落合さん 【対応方法】 ・ミーティング周知ポスターの提示と声掛けと時間割の活用 ・ミーティング当日の参加状況と管理 ・ミーティング欠席者フォロー実施 →横急運輸のミーティング日に参加、参加出来ない場合自社フォロー
	課題	・参加状況の整理 (声かけや周知) ・欠席者フォロー体制の構築	
②	目標	走行管理表の記入・提出100%	・2024年4月度分より走行管理表の記入開始 ・車両担当者の設定 (車番ごとに車両担当責任者を決定) ⇒出席リストに記載 【2026年5月度記入率】提出率：100% ・燃費記入：100%、月間燃費：100% ・目標燃費：86.7%、コメント：86.7%
	課題	・走行管理表の記入・提出率100% ・運用ルールの構築	
③	目標	安全教育の仕組みづくり	・全員が意欲的にミーティングに参加できる環境を構築する →ミーティングへの参加の呼びかけや目的の共有 ・乗務員ミーティング内でのコメントを管理者ミーティングにて共有 →優先順位付けやフィードバック方法などを確立していく
	課題	・ミーティング出席率 ・ボトムアップとフィードバック	

3.乗務員ミーティング

■ 議題テーマ：「イレギュラー発生時の対応・車両実地（車両特性）」

- ① 走行管理表の記入状況
- ② 燃費推移確認
- ③ 事故推移・事故共有
- ④ 実地講習（内輪差とオーバーハング）
- ⑤ 今回のポイント（イレギュラー発生時の対応）
- ⑥ 法定教育項目⑥主として運行する路線若しくは経路又は営業区域における道路及び交通の状
- ⑦ 社員意見・要望等

■ 今回のポイント

- ・イレギュラー発生時の対応を考える。イレギュラーが発生した場合冷静な対処が出来るように心がける
- ・事前情報を活用し危険地点や渋滞箇所などを避け、安全性を確保することを心がける

イレギュラー対応 ～あなたはどうする～	点検:
【乗客・車両トラブル】 ① 運行開始中のアクアラインが事故渋滞でほとんど動かなく、大幅に時間がずれそう	対応:
② 初めての運行ルートで計画のルートが通行止めで迂回をしなければいけなくなった。周辺は市街地で渋滞はあまり広くない	対応:
③ 道路走行中、車両トラブル（故障）が発生し、車両が動かなくなった。その後の対応は	対応:
④ 体調不良（本人・お客様）が運行中発生した場合の対応	対応:
【お客様対応】 ⑤ お客様に運行途中なので、計画にない場所へ少し寄って欲しいと言われた場合（トイレ含む）	対応:

項目6 主として運行する路線もしくは経路又は営業区域における道路及び交通の状況

(2) 情報に基づく安全運行のための留意点

① 運転基準図の活用

時間等によって変わる危険要因

天候などによって変わる危険要因

道路、交通状況での危険要因

路線バスでは、乗客の
と定時運行を確保するため、
運行系統ごとに道路状況、
交通状況等を把握した「運転
基準図」を作成する。

運転基準図によって、
の位置や地点間の
距離、標準運転時間、平均速
度などを把握する。

①安全

②停留所

■ 参加者コメント（抜粋）

- ・乗客が体調不良を起こした場合は、速やかに状況を確認して会社に連絡をする。
- ・車両トラブルが発生した場合は、誘発事故を防ぐために非常用具などで他車に知らせ対処をした後に会社に連絡する。
- ・乗客の体調不良が出た場合は、まずは安全な場所に停車し乗客の様態を確認する。様態によっては救急車などを先に呼んだ方が良いため。
- ・乗客からの要望などで、ルートを外れなければトイレやコンビニであれば立寄る。ルートを外れる場合は会社に連絡をし確認する。距離などが変わると料金なども変わるため。
- ・事故渋滞などで大幅に時間が遅れる場合は、お客様に状況を説明する。乗客の予定などもあるため。

【法定項目について】

- ・事前に天気予報や高速の渋滞情報などは確実に確認するようにしている。
- ・時期によって、高速のリフレッシュ工事や出入り口が工事で封鎖されることもあるのでそれも情報を調べる。

■ 所見

今回はイレギュラー発生時の対処方法を事例別に考えていただきました。次回、事例別の対応方法の模範事例をフィードバック出来ればと考えております。また、合わせて、車両特性（内輪差・オーバーハング）の実地も実施いただきました。今回の実地を踏まえ事故削減に向けて取り組んでいければと考えておりますので宜しくお願いいたします。

4.管理者ミーティング

- 開催日 : 2026年 6月16日(火)
- 開催時間 : 14時00分 ~ 14時40分
- 参加者 長谷川社長、藤巻部長、野村氏、岩本氏、片桐氏
- 欠席者
- 議題 テーマ「イレギュラー発生時の対応・車両実地（車両特性）」
 - ① ミーティング出席 欠席者フォローについて
 - ② 走行管理表の状況
 - ③ 事故推移
 - ④ DR映像について 車間距離確保状況
 - ⑤ 活動2年目の目標
 - ⑥ 今月の強化項目の設定
 - ⑦ 前回のドライバー意見の確認 イレギュラーKYT

■ 議事録

No.	議題	内容
①	ミーティング出席 欠席者フォローについて	・ミーティング出席：17人/17人（100%） ※別紙、出席リストを参照ください ・欠席者フォロー：無し
②	走行管理表の状況	【2026年5月度記入率】提出率：100% ・燃費記入：100%、月間燃費：100% ・目標燃費：86.7%、コメント：86.7% ⇒目標燃費はMTG内で次月の目標をドライバーと設定する
③	事故推移	・活動2年目（2026.4～ミーティング現在）事故総数4件 車両事故4件、その他事故0件 ・5月度：車両事故2件、6月度：事故無し（ミーティング時点） ・昨年同月対比：車両事故1件増加
④	DR映像について 車間距離確保状況	・次月ミーティングまでに全ドライバーの車間距離の確保状況について、ドライブレコーダー映像を確認してもら ⇒今回、金子氏・芹田氏・関氏確認済み ・ミーティング内にて、DR映像を活用する（担当：野村さん）
⑤	活動2年目の目標	・車両事故5件以下、追突事故0件を目標数値とし事故防止への取組を継続していく ⇒年3回の車両などを活用した、実地（実技）の実施予定 ・6月度：オーバーハング実地講習実施
⑥	今月の強化項目の設定	・毎月、強化項目を設定し点呼時、定期的に確認を実施する 7月度強化項目：法定速度遵守 と車間距離の確保 具体的行動：標識や道路標示を確認し法定速度を遵守
⑦	前回のドライバー意見の確認 イレギュラーKYT	・前回のドライバー意見の内容確認 ⇒要望書の設置、運行指示情報の強化 ・イレギュラー時のKYTを実施 ⇒次回、模範事例を共有予定

■ 所見

今回、実地（内輪差・オーバーハング）の準備から指導ご協力いただき誠にありがとうございます。狭い場所での発進や後退が多いため無理に出ようとするのではなく、状況把握や早めの切り返しなど状況に合わせた車両の動かし方が乗務員の方も体験できたと感じております。また、実地を定期的に実施し事故防止に繋げていければと考えておりますので宜しくお願いいたします。

指導及び 監督指針

国土交通省
マニュアルより

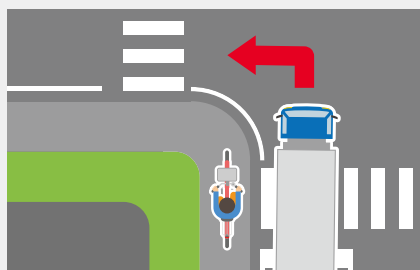
トラックの重量、車高、車長、車幅などの特徴から、死角やスピードなどへの影響があることを確認させ、特性に合わせた運転をすることが必要であることを指導しましょう。

(1) トラックの特性に合わせた運転



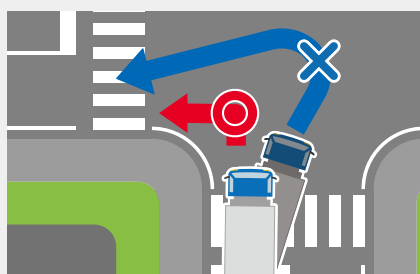
トラックの車長に合わせた運転

乗用車と比較して、トラックの車長は長いため、内輪差が大きい、曲がる時に車体がふくらむ、オーバーハング部がはみ出すなどの特徴があり、**特性に合わせた運転**が重要です。



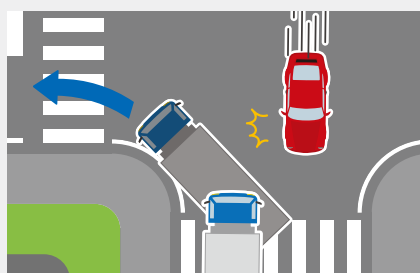
内輪差

左折時に左側の二輪車や歩行者を巻き込む事故が発生しやすく、構内から車道に左折して出るときは、塀や門などに接触し破損してしまふことがあります。左側方の確認を**ミラーと目視**で行いましょう。



車体のふくらみ

左折時は左側に寄ってふくらみを少なくし、十分な減速と徐行で曲がりましょう。また、左に寄る際はミラーをよく確認し巻き込みを防止しましょう。



オーバーハング

トラックはリヤオーバーハングが大きく、右左折時に後続車や対向車と接触の危険があります。左折時はハンドルを徐々に切り、左右のミラーによく目を配りましょう。

参考:「自動車運送事業者が事業用自動車の運転者に対して行う一般的な指導及び監督の実施マニュアル21頁~27頁」より

まとめ

トラックには乗用車と異なる特性があることを理解し、**特性に合わせた慎重な運転**を心がけましょう。



今月のドライバーズメモ ~最も長いトラックは何m~



最も全長が長いトラックは「**ダブル連結トラック**」で全長は最大25mになります。
1台で通常的大型トラック2台分の輸送が可能で、輸送効率の向上や
ドライバー不足の解消に貢献することが期待され2019年1月から本格導入されました。

株式会社オリエンタル観光

6月 乗務員 運転技術訓練

構内にて オーバーハングの確認と狭い場所での切り替えし訓練



右後方 オーバーハングの確認の仕方



狭い場所での内輪の確認



6月16日 乗務員 全員 実習を行いました